

精華町教育委員会議事録

平成30年（第1回）

1 開 会 平成30年1月23日(火) 午後3時30分
閉 会 平成30年1月23日(火) 午後4時30分

2 出席委員 松本委員 中谷委員 新司委員 岡島委員

3 欠席委員 太田教育長

4 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長
山崎学校教育課主幹

5 傍聴者 なし

6 議事の概要

(1) 開会

教育長職務代理から第1回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から平成29年第12回教育委員会の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 事務局からの諸報告

教 育 部 長 第6回相楽地方教育長会議について

1月17日に行われ、教育長に代わりに出席した。その内容についてご報告させていただく。

まず2月8日、教育長・教育長職務代理者の部会に、教育長と職務代理のお二人に出していただき、それぞれ分かれて会議を開き、その中で次年度の役員を決めていただくということだった。

今回、教育長会で本町は会計監査に当たるが、松本職務代理におかれては相楽地方教育委員会連絡協議会の会長が当たる。これは2カ年ずつの輪番によるもので、28、29年度は木津川市、30、31年度は精華町となる。あわせて、今回は山城地方教育委員会連絡協議会の会長が当たっている。

相楽地教委連の平成30年度の事業計画としては大きくは2つ。平成30年7月6日に教育委員・教育長合同研修会及び懇話会で、講演と懇話会が開催されることが1つと、もう1つは31年2月7日に教育長・教育長職務代理者の合同会議があり次年度の事業内容の協議が行われる。

以上の内容が前回の教育長会議の中で議論等され、あとは2月8日のそれぞれの部会でお決めいただき、最終的に先ほど申し上げた事業計画案の採決をいただくことになる。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

問題事象は3件。不登校13名で前月と同数。各学校とも家庭との連携をとりながら取り組みを進めている。

(2) 中学校

問題事象は1件。不登校22名。前月は21名。テストや入試の最中で、プレッシャーに押されて欠席が増えたため、1名増加している。様々な面で心のケアも含めながら取り組んでいる。

総括指導主事 2 いじめ調査集計について

これは12月調査で、28年と29年の比較で集計した。小学校の28年のいじめの認知件数は353件、29年は388件。集計方法が29年から変わっている。今まで第1段階、第2段階、第3段階と言っていたが、第2段階を廃止して、AからDまで細分化している。

Aが要指導件数で、いじめに係る行為がやんでいない状態を言う。Bの要支援件数は、いじめに係る行為がやんでいるが児童・生徒が心身の苦痛を感じている、いじめはなくなったけれども、まだ苦痛を感じているのがB。Cの見守り件数は、いじ

めの行為がやんでおり、児童・生徒が心身の苦痛を感じていないが、いじめに係る行為がやんでから一定の期間が経過していないこと。この一定期間を3カ月と国が示しており、3カ月間何もなかったら解消と判断するという基準になっている。最終のDが解消になる。今回は、3カ月経っていないのが非常に多く、Cの見守り件数が非常に多い状況になっている。2月には年間の集計も行うので、その段階では、別の数字が出てくると思う。

いじめの態様ということで、どのようなことをされているのか、どのようなことで子どもが心を痛めているのか、細かな件数を書いている。28年と29年とを比較した場合、小学校は、パソコンや携帯電話による誹謗中傷が4件から11件になり、小学生でも携帯電話やスマホ等が普及し、SNSなどによって心を痛めている子がいる。そういう部分での件数が増加傾向にある。学校ではそういったマナー学習もしていかなければならないと考えている。

中学校も分析の仕方、集計の仕方については、小学校と同じ形で行っている。認知件数については、28年度は30件で、29年度は23件と、若干減っている。

いじめの態様については、28年、29年とおおむね同じような傾向で動いている。いじめについては各学校、各教師、担任がアンテナを張って取り組んでいる。

総括指導主事 3 指導の重点について

学校教育と社会教育と大きく2つに分けて出している。まず載せているのは項目で、この項目は1から5まで、教育大綱に沿った形の構成となっている。この構成については、昨年度と大きく変わっていない。

学校教育指導の重点については、現在、学習指導要領の移行措置に入っており、それに関連する部分で文言修正をした。各教師とも移行措置を理解して、スムーズな実施に向けて、整理をさせていただいた。

生涯学習課長 社会教育の指導の重点については現在文言整理が中心となっ

ているが、このあと社会教育委員会の中で、再度整理を行う予定である。

総括指導主事 続いて、『せいか学びと育ち』プランについて。これはソフト事業をまとめてあるもの。各教職員には、これも含めて配付するので、ごらんいただけたらと思う。

子ども祭りの関係については単独事業ではなく、様々な活動を充実させ、取り組んでいかなければならない内容ということで、現在整理を行っている。

以上が今回、第一案として出させていただいた。お気づきの点があれば、ご意見をいただき、次回教育委員会で採決、3月の校長会でその内容を示す予定となっているので、よろしくお願ひしたい。

総括指導主事 4 キャリア教育推進フォーラムについて

1月20日、参加者148名と、多くの方々に参加いただいた。アンケートを回収したところ、まず、「小学校におけるキャリア教育の取り組みについての感想をお聞かせください。」という質問については、「自己肯定感を高めるよう努力して下さっていることがわかり、うれしく思いました」といただいている。

「生徒による職場体験実践発表についてのご感想をお書きください。」については、「内容もそうですが、発表を自分たちで工夫されていて、聞いていても楽しいですし、頑張りが伝わりました」ということで、いい感想を聞かせていただいた。

講評についても「興味深いお話をありがとうございました」「竹原先生の講評はきっと子どもの心に残ると思います」というご意見があった。また、図書館前のスペースに、子ども自身が作成した壁新聞を展示しており、それを見られての感想ということで、どの学校もそうだが、「うまくまとめられていて、各校の特色が出ていて見ていて楽しかった」というご意見。それから、「自分の子どもが将来をどう考えていくのか、親としても気になります」「学校でこういう取組をしていることがわかり、とてもためになりました」と。お母さんからのご意見と

思うが、このように参加していただいた感想を寄せていただいた。

学校教育課長

1 学校給食基本構想（案）への意見募集について

2回の検討会議を経て、11月の教育委員会でもご説明させていただいたとおり基本構想（案）ができた。

それについて幅広く住民の方からご意見をいただくため、1月12日から2月13日までの1カ月間、パブリックコメントを実施している。

2月の精華広報誌にもパブリックコメントの募集について周知する予定。現在はホームページと図書館、学校教育課、企画調整課に資料を設置している。それを勘案した中で、最終案を策定していきたいと考えている。

学校教育課長

2 学級閉鎖について

1月16日から川西小学校の6年2組が学級閉鎖、1月17日から精北小学校の1年生が学年閉鎖となっている。また、東光小学校の3年1組、3年3組も学級閉鎖で、今後非常に寒くなる予報が出ているので、さらに増加するのではないかと危惧している。

学校では手洗い、うがいの徹底の励行については十分指導しているが、1人がかかると感染力が強いので注意しながら見ていきたいと考えている。

生涯学習課長

1 成人式について

参加者数は350名、対象者440名中の350名ということで、約8割の参加があった。近隣の市町村と比べると、やはり精華町は今年も出席率が高かった。特に混乱等もなく無事に終えることができた。

生涯学習課長

2 精華町文化財愛護会創立50周年記念講演会について

「南山城の仏像文化と精華町」というタイトルで講演いただく。前段で記念式典を開催する予定。式典については、2月3日の正午から開始し、この中で町長挨拶等があり、来賓として京都資料館の館長に来ていただきご祝辞をいただくほか、教育委員会からの感謝状の贈呈及び愛護会から歴代の会長の方に対

しての感謝状の贈呈式等もこの式典の中で行われる。それが終わり次第、会場準備等の時間を設けて1時半より、この仏像に関する記念講演会となる。

【委員の意見等】

教育長職務代理 いじめの調査集計で第2段階をA・B・C・Dの4つの段階に区分けされているのは確かにわかりやすい。学校でよく頑張っていたでいて、認知してからすぐに解消するという場合と、時間をかけて解決しないといけないことがある。引き続き丁寧に指導をお願いしたい。

もう一点、給食については、前にもアンケートをとっていただいたり、検討会を重ねたり、なおかつパブリックコメントをとって再度検討していくことは非常に大事だと思う。中学校給食は難しいところがあるが、いろいろと検討の上、これからもお願いしたい。

中谷委員 いじめの調査で小学校を見ていくと、1年から3年まで上がっていき、4・5・6年では減少するが横ばいという状態が続いている。小学校の1年生、2年生の問題が3年生まで引っ張られ、まだまだ自分なりに問題解決するのが難しいこともあるので、先ほど松本委員からお話があったが、学校側が見ている時間はわずかな時間ではあるけれども、協力体制で見えていくということと、保護者との連携がとても大事だと思う。

4年生で件数が減るのは、子どもの成長のあらわれや、自力解決に向かっていくということもある。そうなれば、自分で解決していける力、自立する道をつくるためにも、小学校の1・2年、3年生、あるいは4年生段階までは、丁寧に見ていき、保護者との連携、子ども同士の関係をつくっていくことがとても大事になる。次年度の学校の重点や今年度のまとめ段階でも、各学校で、もう一度十分な分析をしながら進めていってもらいたいと思う。

いじめは、新聞や第三者委員会の発表で、学校に責任があるという報道がなされており、これからはますますそういう状態が多くなると思う。3年ほど前に、校長・教頭と教育委員会

合同の研修のときに、大津の事件をテーマについてご講演されたときになるほどと思ったのは、最初に見た光景では、ううんと思うけれども、2回、3回と同じ光景を見ていくと、またかとか、そういうように見てしまい、その恐ろしさが事件につながっていくという話があった。2年目、3年目になってくると、あの子はあんな感じだとか、そういうふうに見てしまう。自分たちが見逃していることのあらわれでもあると思うので、新年度の体制になったとしても、初心を忘れず、進めていてもらいたい。

問題事象の件では、子どもたちの関係で、縦のつながりがよい方向に向かえば解決する手段として大きな力を発揮するけれども、これが逆の方向に行けば、小学校から中学校へ行っても、引きずってしまうということにもなる。ここはやはり十分丁寧に指導してもらいたいと感じた。

新 司 委 員

キャリア教育推進フォーラムは、発表が工夫されており、大変よくまとめられていた。発表する人たちが自信を持って、どのように伝えれば人に理解してもらえるか、よく考えて、去年よりもさらに発表の内容がよかったと思う。

生徒たちの様子を見ていたら、会場の雰囲気や、会場の人たちの気持ちをつかんで楽しんでやっている感じを受けた。たった3日間だが、それぞれの事業所は本当にご苦労が多いと思う。私もそういう子どもたちを受け入れて保育をしていたが、子どもたちを3日間、よく事業所はご指導してくださったなと思って、感謝をしている。

保育所に行った生徒さんが3つのポイントとあって、実際、子どもと目を合わせる、笑顔でする、それから話しかけるということを、動きを使って、視線を合わせるには、子どもの姿勢は低いので、上からしゃべるのではなく、ちゃんと座って、子どもと自分の視線を合わせるなどの発表を見て、保育の中で一番大事なことや、自分たちが保育を受けていたときのことを、きっと思い出したろうし、保育の仕事を、その体験を通してやりたいと思う子どもは、体験がすごく大きな学びにつながっ

ったのではないか。本当にすばらしい発表で、毎回毎回楽しみにさせてもらっているし、事業所の人たちには、丁寧に子どもたちを指導してくださって、ありがたいと、その言葉に尽きる。

岡 島 委 員

同じくキャリア推進フォーラムだが、うちの子どもも中2のときに事業所にお世話になって溶接をさせていただいた。職場体験は、事業所の方は大変だと思うが、将来を考える中で、親として、こういう経験をさせていただくことは本当にありがたい。また来年度、次男が中学2年生になるので、今度はどこの職場に行かせてもらうのか、親として楽しみにしている。やっぱりそういう内容を聞かせてもらうだけでも、そういうことをさせてもらえるのか、それはためになったねという話もできるので本当にありがたいと思っている。

文化財の件では、以前、精華町の昔の地図、絵図を見に来たことがある。本当に難しく、見てもなかなか理解できなかつたりする。やはりこういう講演会等の機会があると、1つの知識として、こういうものが精華町にあることを知って、周りにも知らせていけるので、こういう機会を大事にして、自分のものにしていきたいと思う。

中 谷 委 員

今のそれにかかわって、家を整理していたら古い副読本が出てきた。3年生、4年生が対象だが、新しく精華町に来る先生方に渡してもいいかなと思う。数年間は精華町で教えていくわけで、その精華町がどういうところか、副読本にコンパクトにまとめられている。地域のこと、風土、産業、それから歴史的なことも。もちろんよくご存じの方もいるかもしれないけれども、今、人事の交流が、なかなか激しいものがあるから、そういう意味ではあればいいと思う。

もう一つは、転入される保護者の方に、一枚物か二枚物で、何か全体の図と精華町の歴史、文化財が分かるものがあれば配布すればいいのではないか。あとはグルメ地図などをつけておくとか。転入して来て、こんなところがあるということで、親子で一緒に行くなどできるので、ふと今、話されている中で、思った。

教育部長

11月に同志社大学のインターンシップで、留学生を受け入れた。文化財では、新殿神社、新嘗祭も見せていただきましたし、武内神社が昨年700年を迎えられたということで、宮司さんに奥まで入らせていただき、後ろからも見せていただいた。ちょうどそれが日本だけではなくて中国と韓国の様式も入っているということで、来ていた留学生の中国と韓国の学生たちは非常に興味深く見ていた。そういう意味で、なかなか見られないところ、あるいは知られていない文化財は非常に多い。

教職員の新採研修だけではなく、行政職員の新採研修でも、4世紀前後ぐらいから精華町の名前が出てくるので、少し内容にふれている。町外から職員も来ているので、副読本のよなものを渡して、精華町の職員自体が精華町の文化財を知ることにも非常に大切になる。学校の先生ももちろんだが、我々行政職員がそれを知らないと、なかなか皆さんにアピールできない。文化財側の視点や、企画調整側のまちづくりの視点を持って話をするのも必要なので、参考にさせていただきたい。

中谷委員

新学習指導要領が改定され小学3年生から外国語教育が始まるわけだが小学校の外国語では「桃太郎」など日本昔話を英語に訳して学習してもおもしろいのではないか。給食の時間でもいいし、テレビを見ながら英語で流すなど、聞いて覚えるような方法もあるので、ALTも活用して、親しみのあるところから入れればよいと思う。

学校教育課長

社会科副読本の件は、やはりそれがコンパクトにまとめられており、わかりやすいということで、新規採用の先生方には4月に渡している。

転入されたときには町の施策や、各部署の手続、あわせて観光マップ等も配布し、そこに文化財の分をどのように入れていくかというのは今後の課題になるが、まず精華町のことを知っていただくことが大事であると思っている。

(5) 後援関係

1 2月から1月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数2件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が2件、うち社会教育係関係が1件、図書係は0件、社会体育係関係は1件。

(6) 2月の行事予定

(7) 閉会

教育長職務代理が第1回教育委員会の閉会を宣言。